

福山市地域資源調査報告書

2023年(令和5年)7月
福山市企画財政局企画政策部企画政策課

1. 報告書趣旨	1
2. 基礎調査	
(1) 基礎調査概要	2
(2) 国内外のトレンドやマーケットの変化	3
(3) 地域資源活用に向けた強化ポイント	4
(4) 地域資源・活動の整理～資源から見るエリアの特徴～	5
(5) 地域資源・活動の整理～テーマやエリアごとの代表的な資源～	6
(6) トrendや強化ポイントを踏まえた地域資源の現状分析	8
3. アドバイザリー会議を踏まえた強化ポイント	9
4. 福山みらい創造ビジョン、福山市地域戦略、（仮称）地域未来ビジョン の関係性	10

1 報告書趣旨

本市は、2021年（令和3年）3月に「福山みらい創造ビジョン」を策定し、市民が安心して暮らせ、未来に希望を持てる新たな都市づくりに取り組んでいます。そして、2022年（令和4年）3月には、個性豊かで活力ある地域づくりを進めるため「福山市地域戦略」を策定し、その中で、地域の産業や自然環境、歴史的・文化的資源、その地域でしかできない体験や学び等の地域資源の活用を進めることとしています。

本市には、瀬戸内海の恵に育まれた豊かな自然環境や、“全国唯一”の天守北側鉄板張りである「福山城」、2025年世界バラ会議福山大会が決定している本市のシンボル「ばら」、古くから潮待ちの港として栄え、万葉集にも詠まれている「鞆の浦」など、ここにしかない資源を数多く有しています。これらの資源を活かして、地域産業の活性化や雇用の確保につなげていくことが重要です。

しかし、様々な可能性のある地域資源を持ちながら、有効に活用されていないものや十分に認知されていないものなどが多く存在しています。個性豊かで活力ある地域づくりを進めていくためには、本市の特徴や社会の変化などを踏まえ、基本的な考え方や方向性等を整理し、共通認識を持って地域資源の活用を進めていくことが求められます。

本報告書は、2022年度に実施した基礎調査及び外部有識者で構成される（仮称）地域未来ビジョンアドバイザー会議での意見を基に、本市の地域資源の特徴や活用の方向性を取りまとめたものです。

2 (1) 基礎調査概要

調査期間：2022年（令和4年）6月16日～2023年（令和5年）3月31日
業務委託事業者：株式会社地域ブランディング研究所

(1) 現状分析・トレンド変化の整理

本市の現状と課題分析

- 各種統計データ等の客観的なファクトにより、産業・経済・観光の状況を把握し、広島県、せとうちDMO等における広域戦略の動向を踏まえた課題を分析した。

専門家ヒアリング

- 各マーケットトレンドに精通した7名の専門家に対しヒアリングを実施し、次の視点から国内外のマーケットや観光トレンドの変化を取りまとめた。

(2) 地域資源の把握・分析

キーパーソンヒアリング

- 本市で事業又は地域活動等に携わる25名に、地域プレイヤーとしての活動や課題についてヒアリングを実施した。
- 発信の強化や観光への積極的な活用、価値を高めるための地域資源の連携などを行い、もっと市外に魅力を知らしめたいという意見や、課題として人材不足、資金不足、発信不足などが多く挙がった。
- 市としての大きな方針を求める声もあり、市全体の取組としていく必要がある。

ワークショップ

- 市民を対象に参加者を募集し、ワークショップを開催した。グループディスカッションでは、地域資源の活用をテーマに、資源の洗い出し・エリアの強みを生かした活用案について発案・議論を行った。

実施日：2022年11月16日、17日 参加者数：合計50名

開催場所：鞆公民館、かなべ市民交流センター、オンライン(Zoom)、北部市民センター、沼隈サンパル

地域資源の整理と専門家による分析

- 各エリアの地域資源のリストアップを行い、専門家による現地視察及び専門家へのアンケート調査を実施した。
- 核となる地域資源のピックアップとその根拠、専門家の意見、強みとなる地域資源の3つの視点から評価と具体的な取組アイデアの検討を行った。

2 (2) 国内外のトレンドやマーケットの変化

新型コロナウイルス感染症による影響

旅スタイルの変化

観光に求めることの変化

観光地が求めることの変化

○ 国内マーケット

■ シビックプライドの醸成

SNS映えを目的に訪れる観光客が増えるだけでは、地域内消費につながらないことから、エシカル消費（地域の活性化や雇用などを含む人・社会・地域・環境に配慮した消費行動）を推進する動きが加速している。観光を通じた地域のファンが支える仕組みを作り、シビックプライド（都市に対する市民の誇り）の醸成につなげていくことが、国内マーケットにおけるトレンドの1つになっている。

■ 地域のつながり・持続性への寄与

コロナ前の傾向として、「インバウンドに頼りすぎ」、「団体や新規客の獲得が中心で、リピーターの獲得による持続性に寄与していない」といった課題が挙げられている。

一方、新たな需要として、特定の地域を応援するというつながりや、居場所が欲しいといった需要が増加傾向にあり、限られたお金を意義・意味あるものに消費したいという考え方の浸透や、プロセスエコノミーの加速といった社会的背景がある。

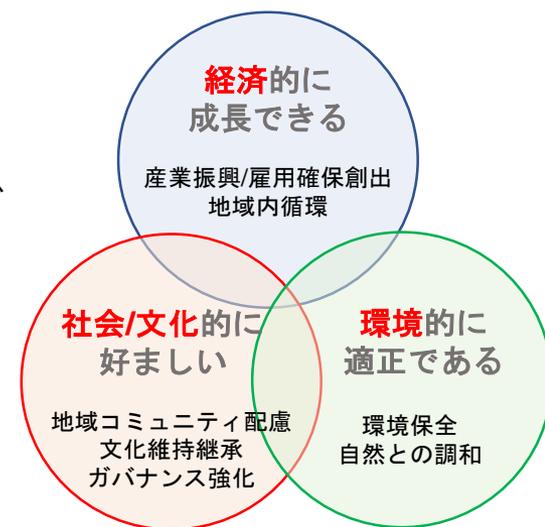
○ 海外マーケット

■ SDGs対応の標準化

特に欧米豪諸国では、SDGsの文脈で物事を見ることが当たり前となっており、適切な対応ができない地域は目的地として選ばれないことが一般的な考え方となっている。

具体的な観点としては、「未来へのビジョン・価値観に共感ができるかどうか」、「（高価であったとしても）ホンモノであるかどうか」といった部分が注目されるような社会へと変化している。

地域の持続性に必要な要素



※参照：UNWTO資料

2 (3) 地域資源活用に向けた強化ポイント

■ 地域資源の魅力をより深く知る → 「交流・学び」

各エリアにおいて様々な地域資源を活用した取組が行われているものの、誘客や稼ぐという視点が不足した取組も多く見受けられる。一方で、各エリアで活動するプレイヤーは、多くの人に地域資源が持つ本質的な価値や魅力を知ってほしいという思いを持っている。

そのため、実際に交流する機会や、その機会に学びの視点を盛り込むことで、単なる物見ではなく、その資源の裏側にあるストーリーや受け入れ側の思いを感じながら、地域資源の魅力をより深く知ることができる。

■ 既存コンテンツのブラッシュアップによる効果的な誘客 → 「体験」

現に提供されているコンテンツにおいても、ブラッシュアップの余地のあるものが存在する。

新型コロナウイルス感染症の影響によるマーケットトレンドの変化を踏まえ、単なる体験にとどまらず、より高い付加価値をつけるなど、既存コンテンツの磨き上げを行い、より効果的な誘客につなげていくことが求められる。

■ 地域資源をつなぎ、エリアでの滞在時間延長を狙う → 「周遊」

マーケットトレンドに即した活用を進めていく上で、各エリアの強みとなる資源を生かすという視点はもちろんのこと、個々の資源だけでなく、複数の資源を一体的に活用する大きな枠組みで取り組むことも必要となる。

エリアを超えて共通項のある資源同士をつなぐことで、個々の資源のみの活用にはない新たな付加価値が生まれる。また、資源間での周遊によりエリア・地域での滞在時間が長くなるなど効果的な地域資源の活用を進めることができる。



2 (4) 地域資源・活動の整理～資源から見るエリアの特徴～

【北部】

古代と現代が共存する歴史探訪&豊かな自然・動物とのふれあいの里

■ 代表的な地域資源

- ・山野峡などの自然豊かな環境
- ・ものづくり（繊維産業）
- ・古墳、砂留
- ・福山市立動物園

【北東部】

城下町～宿場町の流れをくむ武家文化を味わう街

■ 代表的な地域資源

- ・文化資源、施設（廉塾・神辺本陣など）
- ・古墳、砂留
- ・ローカル鉄道（福塩線、井原鉄道）
- ・酒蔵（天宝一）

【中央・東部】

福山を代表する観光、芸術・文化、交流、産業の中心地

■ 代表的な地域資源

- ・福山城
- ・ばら（ばら公園など）
- ・ものづくり（JFEスチール工場など）
- ・文化、芸術（博物館、美術館）
- ・くわい

【南部】

海を臨むレジャーと癒やしの交流スポット

■ 代表的な地域資源

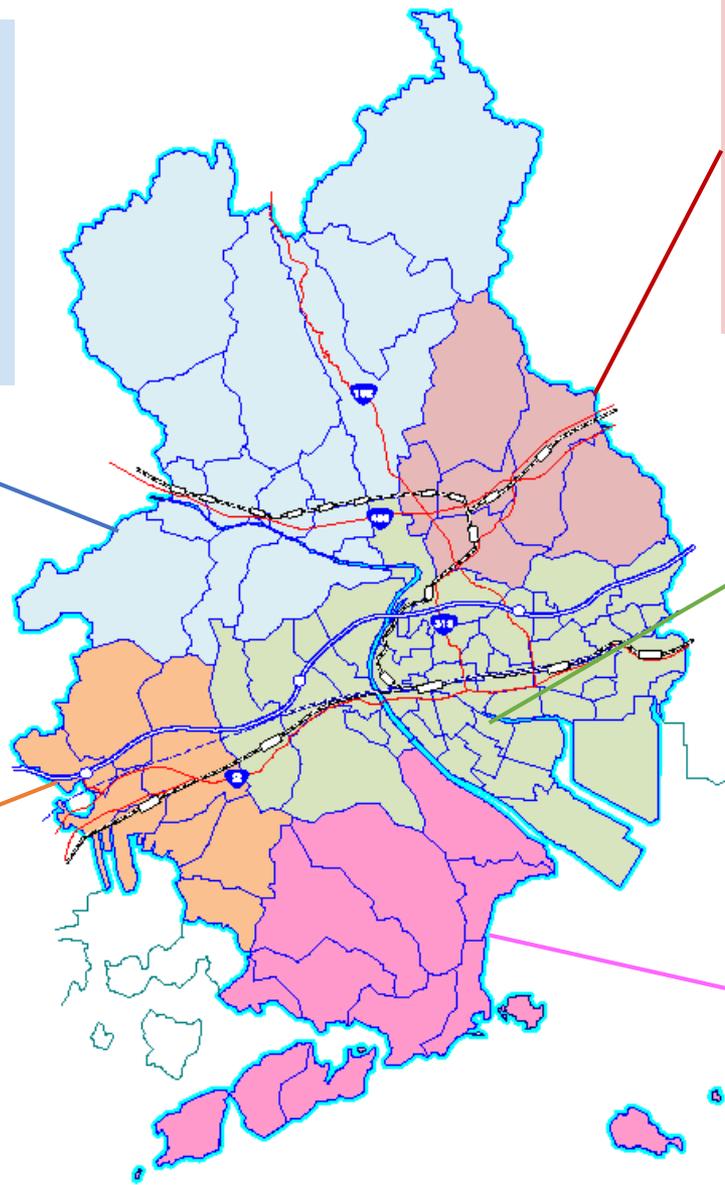
- ・鞆の浦
- ・海洋資源
- ・リトリートスポット
- ・ぶどう
- ・ものづくり（鍛造技術、保命酒）

【西部】

伝統文化を継承する学びのフィールド

■ 代表的な地域資源

- ・ものづくり（備後畳表、下駄）
- ・ゲタリンピック



2 (5) 地域資源・活動の整理～テーマやエリアごとの代表的な資源～

	中央・東部	西部	北部	南部	北東部
エリアの特徴	福山を代表する観光、芸術・文化、交流、産業の中心地	伝統文化を継承する学びのフィールド	古代と現代が共存する歴史探訪&豊かな自然・動物とのふれあいの里	海を臨むレジャーと癒やしの交流スポット	城下町～宿場町の流れをくむ武家文化を味わう街
自然資源	ばら公園 緑町公園 中央公園	本郷憩いの森キャンプ場 竜王山	大滝神社と名水 藤尾の滝 蛇円山 ほたる	瀬戸内海国立公園 仙酔島 走島	堂々川 ほたる 八丈岩
都市資源	総合体育館前公園 かわまち広場	松永クリーク 松永グリーンパーク	山野農村公園 山野峡県立自然公園 富谷公園 福塩線	海洋アクティビティ	堂々公園 吉野山公園 福塩線 井原鉄道
産業資源	うずみ くわい ワイン JFEスチール工場	松永下駄 備後畳表 (い草) 富有柿 いちじく	繊維産業 グリーンアスパラガス 山野峡ワイン 食用バラ	瀬戸内の地魚 沼隈ぶどう 田尻の杏・オリーブ 保命酒 鍛造	桃 天宝一 福山琴

2 (5) 地域資源・活動の整理～テーマやエリアごとの代表的な資源～

	中央・東部	西部	北部	南部	北東部
文化資源	福山城 明王院 広島県立歴史博物館 ふくやま美術館 ふくやま文学館 明王院五重塔 俄山弘法大師	ゲタリンピック 東村町かかし祭り 本郷神楽 本荘神社・潮崎神社	けんか神輿 素戔鳴神社 備後一宮吉備津神社 別所砂留 芦田大谷砂留 二子塚古墳 山野民俗資料館	鞆の浦の町並み お手火神事 能登原とんど 沼名前神社 太田家住宅 阿伏兔観音 常国寺	廉塾ならびに菅茶山旧宅 神辺本陣 葛原家住宅 堂々川砂留 御領古墳群 四つ堂（辻堂・憩亭） 神辺城跡
施設資源	明王台展望台 福山市人権平和資料館 福山自動車時計博物館 喜多流大島能楽堂 エフピコアリーナふくやま 次世代エネルギーパーク iti SETOUCHI	松永はきもの資料館 骨董&ギャラリー喫茶 蔵 福山市園芸センター ふくやまふれ愛ランド 広島県福山少年自然の家	福山市立動物園 芦田わくわく市 信岡フラットミュージアム 貝原歴史資料館	いろは丸展示館 神勝寺禅と庭のミュージアム クレセントビーチ 道の駅アリストめまぐま 平家谷しょうぶ園 ツネイシしまなみビレッジ 内海ふれあいホール	菅茶山記念館 神辺歴史民俗資料館
体験コンテンツ	城泊 くわい収穫体験 次世代テクノロジー体験 藍染体験 エフピコ工場見学	い草植付け体験 円座づくり 本荘重政史跡散策会 自然ゲーム・クラフト体験	砂留見学 古墳巡りツアー 藍染体験 縫製技術講座 デニム工場見学 ぶどう収穫・ワイナリー 見学 けんか神輿見学 キャンプ	民泊体験 クルージング・カヌー 砂風呂・江戸風呂体験 漁業体験（底曳・のり養 殖等） 鍛造体験 座禅体験 鞆潮待ちガイドツアー 鞆竜馬コースツアー キャンプ スポーツ合宿	古墳散策 古墳ロードスタンプラリー 山陽道歴史巡りウォーク 史跡ガイド案内ツアー ワイン列車

2 (6) トrendや強化ポイントを踏まえた地域資源の現状分析

■ 伝統ものづくりが根付いており、関係者の変革意欲も旺盛

下駄、畳表、鍛造といった伝統を受け継ぐものづくりと、備後鞆から発展したデニム産業、備後地域の産業の中心とも言えるJFEスチールの大型工場などの伝統を活かした技術が市内に点在している。



■ 豊かな自然と寺社仏閣を活かしたリトリート滞在の拠点

豊かな自然があり、滝や峡谷、キャンプ場など自然を楽しみながら滞在できる場所が豊富。寺社仏閣において禅を体験することができ、旅人の休憩所として辻堂が多く存在するなど、近年のトレンドであるリトリート需要を満たすことができる。



■ 陸・海の両方の魅力を楽しめる豊かな食文化

瀬戸内海の水産物などが豊富な漁師のまちであるとともに、ぶどうなどの農産物が栽培されており、陸と海の魅力を楽しめる環境があり、農産物・水産物を活かした食を巡る旅には大きなポテンシャルがある。



■ 潮待ちの港として親しまれてきた、豊かな瀬戸内の魅力

「潮待ちの港」として商売の中心であった鞆の浦の町並み、瀬戸内海の穏やかな気候をフィールドとした海洋アクティビティ、底引網漁や海苔養殖などの漁業、さらに地元漁師が直接魚を出荷する「アリストめまぐま」など、瀬戸内の魅力を感じられる生業と、体験できるコンテンツが南部地域を中心に存在している。



■ 古墳群などの歴史文化を活用したシビックプライドの醸成と誘客

古墳や砂留、辻堂などの歴史的な価値のある資源が北部・北東部地域を中心に多く点在し、神辺本陣、廉塾など城下町～宿場町の流れをくむ武家文化を体験できる文化財も残されている。多くが地域住民の手で守られており、古代～中世～江戸時代までの人々の暮らしを知ることができる。



■ 市民の生活文化・アートを切り口にしたまちづくり

JR福山駅があり、本市の玄関口とも言える中央部地域では、博物館や美術館などが並ぶほか、天守北側鉄板張りである「福山城」や、2025年には世界バラ会議福山大会を控え、本市のシンボルであるばらが咲く街並みなど、観光客など外から来る人へ福山らしさを印象付ける生活文化が多く存在している。



1 資源そのものに関すること

- 外部からの評価を活かした他都市との差別化 → 「独自性」

(アドバイザリー会議委員等の外部からの評価を活かしたブランディング・磨き上げ)

- 自然環境や文化財などの地域資源の保護・継承

(自然環境や受け継がれてきた歴史・文化等の「ホンモノ」の価値が求められている)

- 観光とくらし（生活・仕事）の両立

(観光が住民生活や生業と結び付くことでエリア全体としての発展に繋がる)

→ 「持続性」

2 資源の活用に関すること

- 地域資源の魅力をより深く知る → 「交流・学び」

(交流する機会や、学びの視点を盛り込むことで、資源の裏側にあるストーリーや思いを感じる)

- 既存コンテンツのブラッシュアップによる効果的な誘客 → 「体験」

(マーケットトレンドの変化を踏まえた高付加価値化による効果的な誘客)

- 地域資源をつなぎ、エリアでの滞在時間延長を狙う → 「周遊」

(共通項のある資源同士をつなぐことで、個々の資源のみの活用にはない新たな価値の創出)



地域資源に関心を持つ人や企業の参画による地域の活性化

4 福山みらい創造ビジョン、福山市地域戦略、(仮称)地域未来ビジョンの関係性

(仮称)地域未来ビジョンとは

民間事業者や住民などが主体となりテーマや地域ごとに地域活性化協議会を立ち上げ、めざす将来像や地域資源の活用策、取組のロードマップ等を示したもの。(仮称)地域未来ビジョンを策定後は、各地域活性化協議会が主体となり、具体的取組を実施していく。

福山みらい創造ビジョン

新5つの挑戦

- ・ 福山駅周辺の再生加速とグローバル都市の創造
- ・ 希望の子育てと寛容で健やかな社会の実現
- ・ 人や企業が安心・安全に活躍できる都市環境の構築
- ・ **新たな価値を創出する人材育成と個性光る地域振興**
- ・ 歴史・文化とスポーツによる新たな体験価値の創出

めざす姿

市民一人一人の安心な暮らしと
希望が実現する都市

- ・ 人や企業をひき付ける拠点性の高い都市空間づくり
- ・ 個性豊かで活力ある地域づくり
⇒市域のあらゆる場所で心豊かな暮らしが実現できる魅力的な都市を創造

福山市地域戦略

取組の方向性

- ・ 地域コミュニティの再構築
- ・ 生活基盤の維持
- ・ **地域資源の活用**
- ・ 地域への関心・関係づくり(関係人口創出等)
- ・ 地域のデジタル化の推進

めざす姿

地域内外の人や資源がつながることで、
みんなの思いが実現できる地域

- ・ 地域内外の多様な主体が連携する中で、各地域にある様々な魅力ある資源をつなぎ合わせ、活用していくことが地域の活力の源泉になり、人や企業を地域にひき付けることにつながる

(仮称)地域未来ビジョン

(2023年度末以降、順次策定)

- ・ 地域の産業や自然環境、歴史・文化資源、その地域でしかできない体験や学び等の様々な地域資源を活用した、個性豊かな地域づくり

目的・ねらい

民間事業者や地域住民等による
地域資源活用の促進

魅力ある資源を共通のテーマで結び、関心を持つ人や企業を呼び込むことで地域の活力を引き出し、市全体の活性化につなげる

最上位
計画
(総合計画・
総合戦略)



個別計画
(基本計画)



地域資源活用の
具体的方策